

HD-5100 点灯化キット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・広島電鉄5100形
本キットは、動力ユニット付き車専用です。(チラツキ対策を施しています。)

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット : リード線長短各1個

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

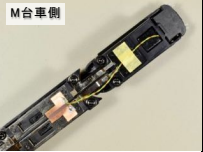


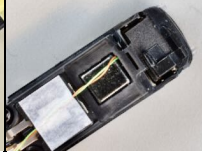

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・ピンセット	・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス(0.3mm~0.9mm)	・ポンチ(プッシュピンなども可)
・プラスドライバー	・精密ヤスリ(平、丸、針ヤスリなど)	・サンドペーパー
・両面テープ	・ゴム系接着剤	・マスキングテープ
・木工ボンド	・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)	・プラモデル用接着剤	・遮光用の塗料(黒)

● 取り付け手順

1. 先頭車のボディを分解する			2. 先頭車のボディを加工する	
1-1 ボディを外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面パーツを外す	2-1 ライトの穴を開ける	
				
ボディは、中間車、先頭車の順に外します。 ボディ下側を押し開くようにして、ボディを床板から外します。	側窓をピンセットでつまみ、内側に倒すようにして外します。	一体の前面パーツを外します。	ライトの中心にピンチで印を付けます。 0.3mmのピンバイスで下穴を明け、中心に開いていることを確認しながら、0.9mmまで徐々に広げていきます。ライトレンズがはまりやすいように、各穴の内側を丸ヤスリで少し広げます。 この段階でライトユニットをはめてみて、レンズと穴のフィットの具合を確認しておきます。	
3. 先頭車の動力ユニットを加工する			4. ライトユニットを取り付ける	
2-2 ライト周辺を遮光する	2-3 ボディを組み立てる	3-1 上フレームを外す	3-2 運転席を切り離す	
				
ボディ内側のライト周辺及びライトの穴の中を、黒の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	ボディを組み立てます。	上フレームを固定しているネジを外します。	下面の車輪前側にあるツメを楊枝などで押して、上フレームを外します。 オモリが自然に外れるので、紛失しないように注意します。	
3-3 上フレームを加工する	3-4 運転席を加工する	4-1 ライトユニットを準備する		4-2 ライトユニットを取り付ける
				
上フレームの前側・中央の、運転席背もたれ両側の部分を、上から10mmの位置まで切り詰めます。 切断面や背もたれ跡を整えます。	運転席の下側を、前側の計器板下の円弧状の部分の下面を目安に、切り取ります。	切り取った跡を、円弧状の部分の下面と面一になるように削ります。 運転席右側の部分は、裏面が一段高くなります。 背もたれの背面も整えます。		上フレーム上面の穴に、ライトユニットのリード線を、下側から通します。 リード線の短い方がM台車側、リード線の長い方がT台車側です。
4-2 ライトユニットを取り付ける	4-3 上フレームを固定する	4-4 端子板を固定する		
				
床板前端のオモリより前の部分に3mm×10mmの両面テープを貼ります。	両面テープの上にライトユニットを載せ、後ろ側に押し付けるように固定します。	オモリをはめ、上フレームをはめ、前側のフックをかけます。	ネジで上フレームを固定します。 リード線の端子板を、モーターのある中間車上面の金属板の端に、両面テープで固定します。金属板位置決め用の黒突起の内側が目安です。	

		5. 仕上げる		
4-5 リード線を固定する		4-6 配線する	5-1 運転席を取り付ける	5-2 ボディをかぶせる
				
<p>リード線を、各車体一ヶ所ずつ、各車体の上フレームに、マスキングテープなどで固定します。</p>		<p>5mm × 16mmのアルミテープを2枚用意し、モーターのある中間車上面の金属板と、2つのリード線端子板を覆うように貼り、3者を電氣的に接続します。</p> <p><u>※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</u></p>	<p>運転席を、両面テープで固定します。</p>	<p>ボディは、先頭車、中間車の順にかぶせます。</p> <p>先頭車は、床板を斜めに差し込み、ライトユニットのレンズを、ボディのレンズ穴に導くようにかぶせます。</p> <p>レンズがはまりにくいと思いますが、ボディ前面が半固定になっていることを生かして、はめてください。</p>

